

京都市上下水道事業 経営評価

平成 24 年度事業



上下水道局マスコット
キャラクター



ホタルのひかりちゃん

料金はどんなことに
使われているのかしら？

上下水道局マスコット
キャラクター



ホタルの澄都くん

平成24年度事業の評価結果は
どうなっているのかな？

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

お客様番号 999 検針区 12345 水栓番号 67890

下水道区分 区域内 汚水区分 水道のみ

京都 一郎 様

戸数 1 呼び径 20 mm、メーター番号 100160

用途 一般

支払方法 口座振替

表示の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

25 年度 6 期ご使用分 (12 月 3 日 ~ 2 月 3 日)

今回指示数 652 m³

前回指示数 620 m³

取替前メーター使用量 m³ (月 日)

井戸汚水等排出量 m³

今回ご使用水量 34 m³

前年同期使用水量 32 m³

前期使用水量 33 m³

ご請求予定額 (内記) 水道料金 4,267 円

下水道使用料 7,160 円

下水道使用料からの割引額 -42 円

下水道使用料からの割引額 -42 円

割引後のご請求額 7,076 円

「割引後のご請求額」は、右記の請求日にお引き落としさせていただきます。

次回検針予定日 4 月 1 日 (天候等により変更する場合があります)

「口座振替割引」をご存知ですか？ 便利でお得な「口座振替」をぜひご利用ください。

今回口座請求日 26 年 3 月 17 日

25 年度 5 期ご使用分 (10 月 2 日 ~ 12 月 2 日)

振替日 1 月 17 日

水道使用水量 33 m³

水道料金 4,453 円

水道割引額 -42 円

水道料金 (口座割引額適用後) 4,411 円

汚水排出量 33 m³

下水道使用料 3,012 円

下水道使用料 (口座割引額適用後) 2,970 円

下水道使用料からの割引額 -42 円

下水道使用料 (口座割引額適用後) 2,928 円

振替金額 7,381 円

検針の問い合わせ先 検針委託 〇〇〇〇

検針月日 26 年 2 月 3 日 検針員

うるおいのしずく、あなたへ

京都市上下水道局

http://www.city-kyoto.jp/suido/

TEL 123-4567 FAX 890-1234

水道 太郎

※上下水道局職員よりご確認ください

表紙の『水道使用水量のお知らせ』は
平成 25 年 10 月 1 日検針分からの様式です

平成25年9月
～京の水をあすへつなぐ～
京都市上下水道局

上下水道料金の改定について

京都市の水道・下水道の料金制度は、昭和56年から大きく変更していませんでしたが、水道水の利用の減少や水道管の老朽化、また、景気の停滞や少子高齢化の進行など上下水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、これからも市民の皆さまとともに安全・安心の上下水道を維持し、豊かな暮らしを守るため、上下水道料金を改定いたしました。

新たな上下水道料金は、10月1日以降の検針分から適用いたしますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

上下水道料金が変わります

平成25年10月検針分から平均3.7%改定

京都市上下水道局からの3つの約束



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
「メタルの音郎くん」

1
老朽化した水道管の
取替を大幅に
スピードアップします!

2
未来の子どもたちにも
安全・安心な
京の水道水を届けます!

3
上下水道局の
経営の効率化を
図ります!



メタルのひかりちゃん

市内各施設に掲示のポスターより

新しい上下水道料金表(2カ月)

水道料金			従量料金(基本水量を超える分の1㎡につき)								
種別/給水管の呼び径	基本水量	基本料金	11㎡~20㎡	21㎡~40㎡	41㎡~60㎡	61㎡~200㎡	201㎡~400㎡	401㎡~1,000㎡	1,001㎡~10,000㎡	10,001㎡~	
一般・公衆浴場業用	13・20mm	10㎡まで	1,840円	10円	177円	180円	208円	226円	243円	284円	326円
	25mm	20㎡まで	3,800円	基本水量の範囲内							
	40mm		5,560円								
	50mm	100㎡まで	36,600円								
75mm	200㎡まで	71,820円									
公衆浴場業用	100mm	500㎡まで	143,200円								
	150mm	1,000㎡まで	268,520円								
	200mm	2,000㎡まで	563,040円								
共用	16㎡まで	330円	17㎡~60㎡ 24円		208円	226円	243円	284円			
下水道使用料			従量使用料(基本水量を超える分の1㎡につき)								
一般汚水	10㎡まで	1,300円	10円	113円	116円	162円	183円	201円	213円	218円	
共用	16㎡まで	166円	17~60㎡ 11円		162円	183円	201円	213円			

※水道料金・下水道使用料ごとに消費税相当額(5%・円未満の端数切捨て)が加算されます。

支払方法が便利でお得に

口座振替割引制度

料金のお支払いに口座振替をご利用の場合、2カ月で84円(水道料金42円+下水道使用料42円、税込み、期日までのお支払いに限り)が割引になります。

クレジットカード払い

水道料金・下水道使用料のクレジットカードでのお支払いが可能です。

※あらかじめお申し込いただいたお客様のクレジットカードに請求させていただきます。

上下水道事業の経営評価

上下水道局では、平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京（みやこ）の水ビジョン（2008-2017）」とその具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など6つの区分から上下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。
2ページへ

取組項目評価

京の水ビジョンに掲げた5つの施策目標の達成に向けて取り組む22の重点推進施策と102の取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。
4ページへ

上下水道経営戦略

京（みやこ）の水ビジョン （2008-2017）



基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。
私たち京都市上下水道局は、
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。
そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなごう。

ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、上下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とした5つの施策目標を掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

中期経営プラン



中期経営プランは、ビジョンの具体的な実施計画です。

ビジョンの前期5箇年の実施計画である、「中期経営プラン(2008-2012)」は、102の取組項目を推進する「事業推進計画」、業務の効率化を推進する「第4期効率化推進計画」及び「財政健全化計画」の3つの計画で構成されています。

平成25年からの後期5箇年については、「中期経営プラン(2013-2017)」を平成25年3月に策定し、水需要の動向や施設の老朽化など、今日の課題に対応するとともに、ビジョンに掲げた目標の実現に向けて事業を推進します。

経営指標評価

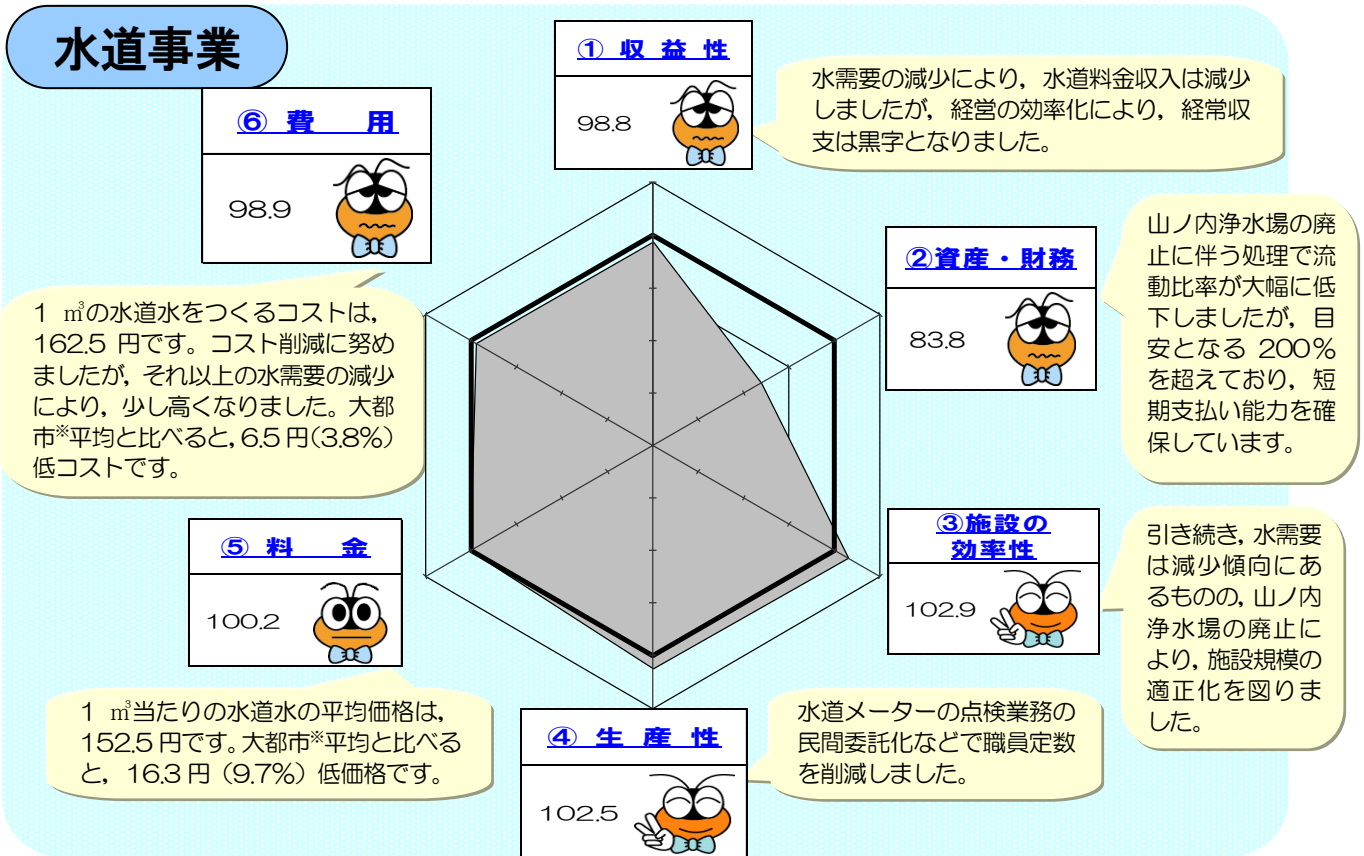
財務指標を中心とした業務指標により、6つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。



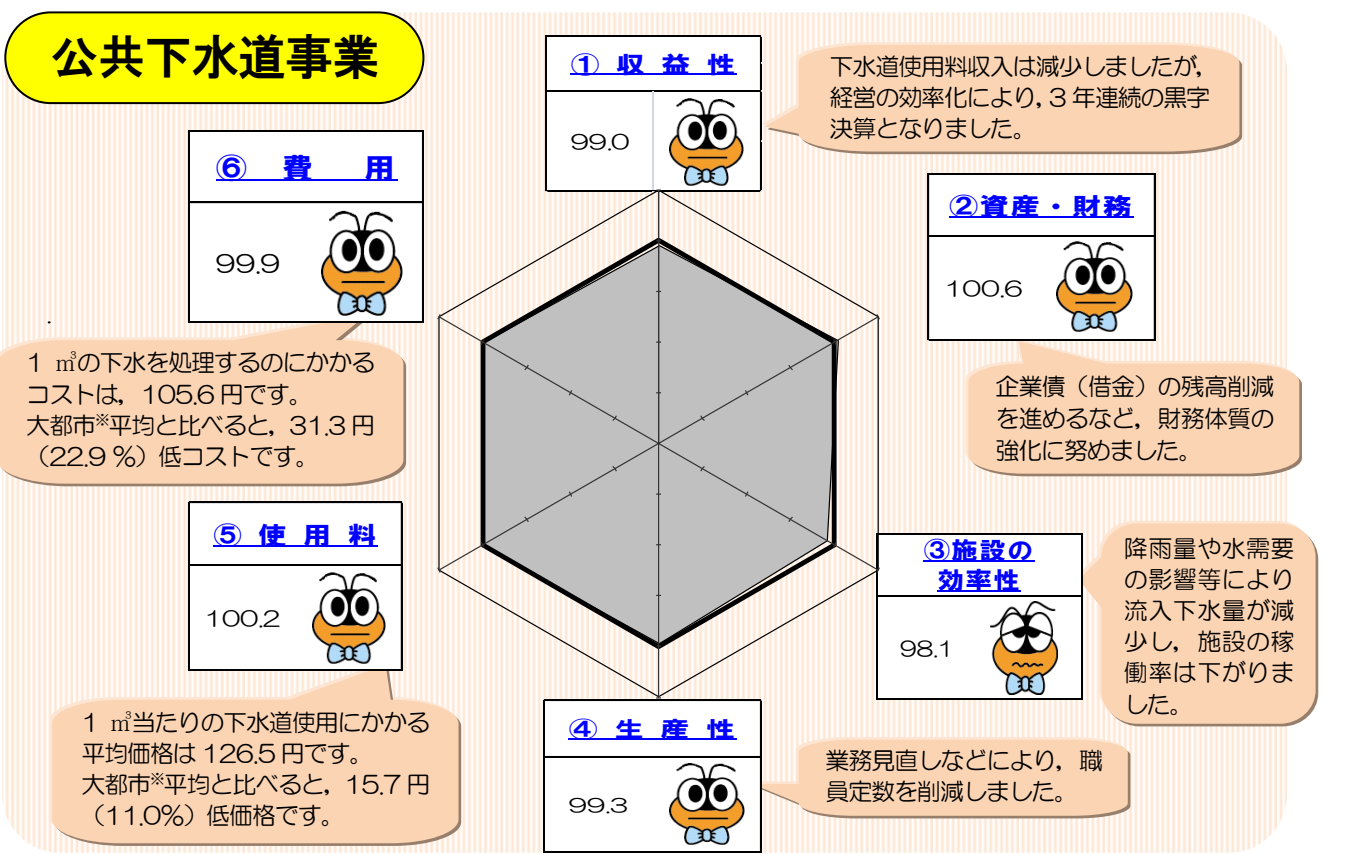
23年度を100として改善度を示しています。



水道事業



公共下水道事業

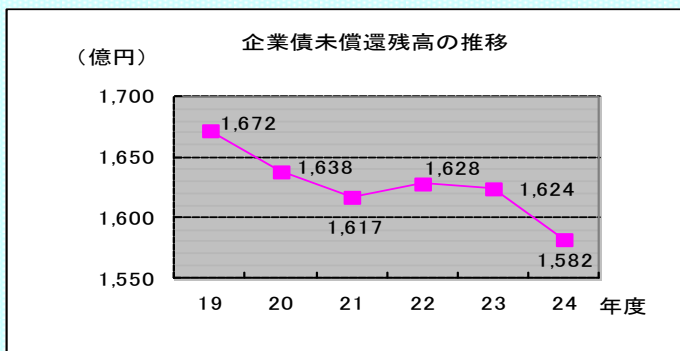
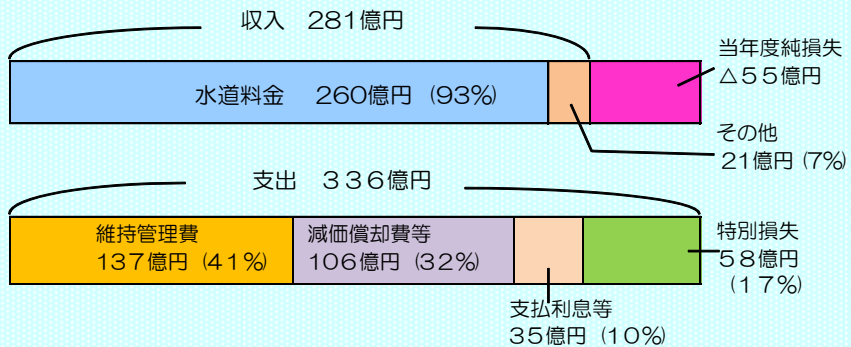


※ 大都市比較は、東京都及び平成24年度における政令指定都市(水道事業では県が主に運営する千葉市、相模原市を除く計19都市、下水道事業では地方公営企業法を適用していない相模原市を除く計20都市)で比較しました。

上下水道事業の財務状況(平成24年度決算)

水道事業

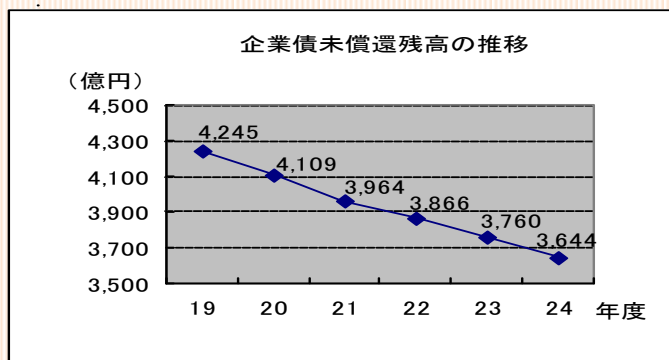
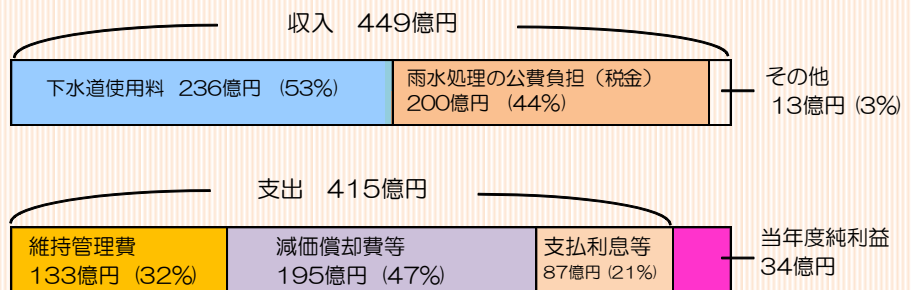
<損益計算書>



水道料金収入は、前年度と比べ1.7パーセント(△4億5,900万円)減少しました。一方、支出において各種経費の削減に努めましたが、山ノ内浄水場廃止に伴う除却費等の特別損失により、6年ぶりの赤字決算(△55億円)となり、29年ぶりに繰越欠損金(△2億1百万円)が生じました。企業債の残高は、前年度と比べ2.6パーセント減少しました。

公共下水道事業

<損益計算書>



下水道使用料収入が前年度と比べ2.2パーセント(△5億3,500万円)減少しましたが、支出において各種経費の削減に努めた結果、3年連続の黒字決算(34億3,500万円)となりました。しかし、企業債の返済の資金が不足しているため、実質の資金黒字は9億1,700万円となります。企業債の残高は前年度と比べ3.1パーセント減少しました。

水道事業及び公共下水道事業の財務情報、連結財務諸表等は上下水道局ホームページに掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

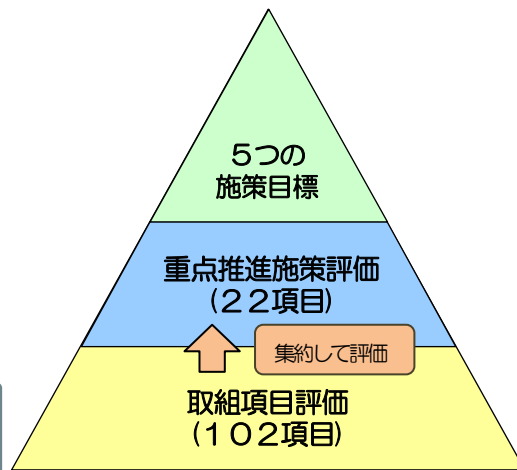
●京都市上下水道局トップページ⇒京都市上下水道局の紹介⇒経営情報⇒[財務情報](#)

取組項目評価

取組項目評価では、京の水ビジョンに掲げる5つの施策目標の実現に向けて平成24年度に取り組んだ102の取組項目及びその上位に位置する22の重点推進施策に対する達成度を5段階で評価しました。



取組項目評価は、年度ごとの目標に対する達成度を評価しているのよ！



取組項目評価の体系

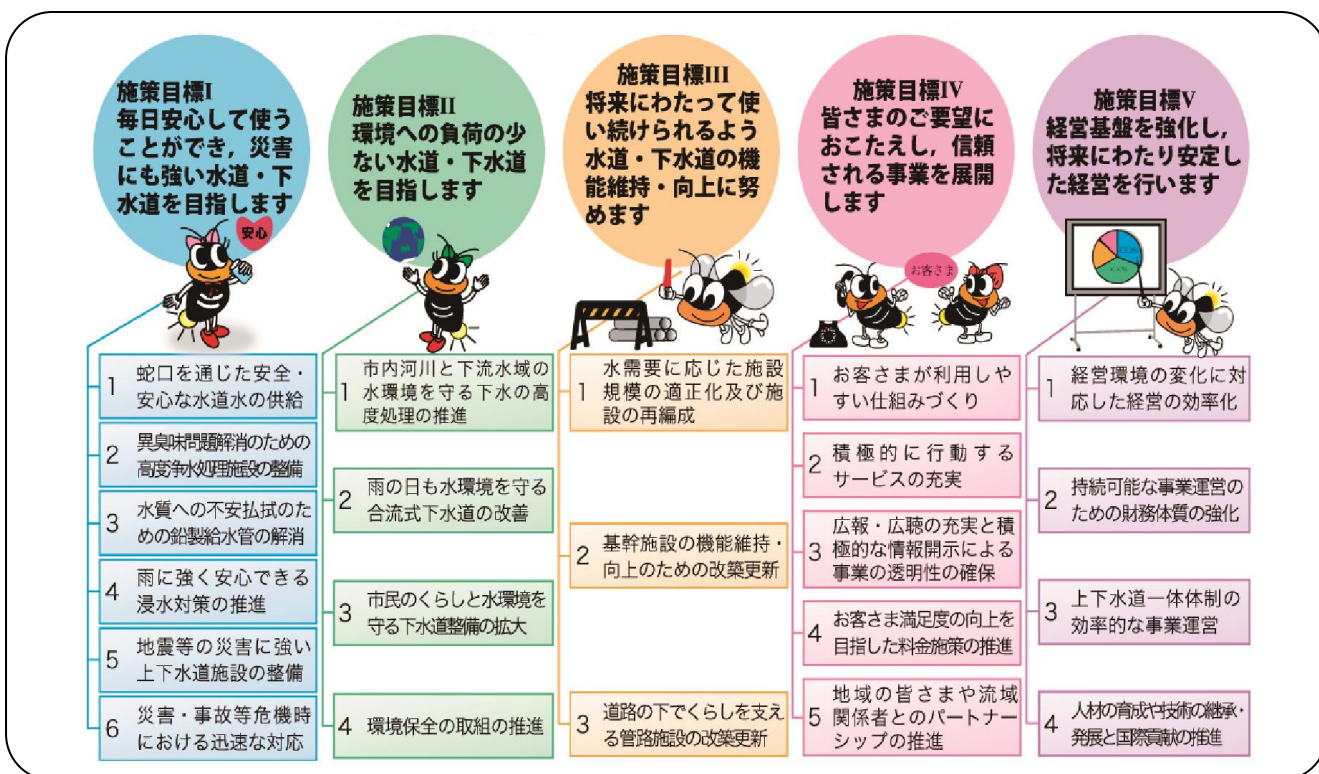
水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消や水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成、経営環境の変化に対応した経営の効率化などを推進したことにより、22の重点推進施策のうち、A評価が13施策、B評価が9施策となりました。



評価方法は、**評価A** **評価B** **評価C** **評価D** **評価E** の5段階評価

十分に達成されている かなり達成されている そこそこ達成されている あまり達成されていない 達成されていない

<京（みやこ）の水ビジョンの5つの施策目標と22の重点推進施策>



施策目標Ⅰ 毎日安心して使うことができ、災害にも強い水道・下水道を目指します

1 蛇口を通じた安全・安心な水道水の供給

24年度の主な実績：直結給水の拡大 295件(目標 250件)
小塩浄水場(京北中部)供用開始

水道施設整備の
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

2 異臭味問題解消のための高度浄水処理施設の整備

24年度の主な実績：蹴上浄水場粉末活性炭接触池築造工事完了

計画どおりに実施
できたため

評価
A

3 水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消

24年度の主な実績：

道路部分の鉛製給水管の単独取替え 13,037件(目標 12,600件)
鉛製給水管取替助成金制度の利用促進 利用件数 58件(目標 70件)
戸別訪問 2,240件(目標 2,000件)

鉛製給水管解消の
目標件数に達しな
かったため

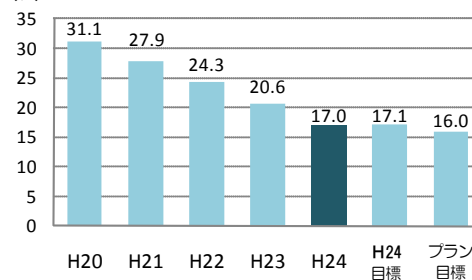
評価
B

道路部分の鉛製給水管の割合(%)

$$= \frac{\text{道路部分の鉛製給水管の使用件数}}{\text{給水件数}}$$

水ビジョンでは平成 29 年までに道路
部分の鉛製給水管の割合を 0%にする
ことを目標としています

道路部分の鉛製給水管の割合 年度別推移



▲上：鉛管
▼下：取替後



4 雨に強く安心できる浸水対策の推進

24年度の主な実績：

浸水箇所の解消に向けた工事(長代川1号準幹線(雨水)(1)工事)の完了
地下街等の総合的な浸水対策に関する工事(塩小路幹線(1)工事, 山科三条雨水幹線工事)の継続実施
雨水貯留施設設置の助成 133件(目標 120件)

雨水幹線などの
工事の進捗に遅れが
生じたため

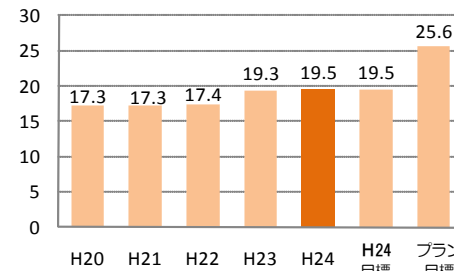
評価
B

雨水整備率(10年確率降雨(1時間 62mm)対応)(%)

$$= \frac{\text{浸水対策済区域面積}}{\text{公共下水道事業認可区域面積}}$$

水ビジョンでは平成 29 年までに雨水整備率(10年確
率降雨対応)を 40%にすることを目標としています。

雨水整備率(10年確率降雨)対応年度別推移



5 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

24年度の主な実績：水道管路, 下水道管路の耐震化工事の継続実施
浄水場, 水環境保全センター等基幹施設の耐震化工事の継続実施

導水施設などの
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

6 災害・事故等危機時における迅速な対応

24年度の主な実績：「京都市地域防災計画(原子力災害対策編)」に関する「京都市水道対策
計画」を策定, 応急給水訓練の実施

計画どおりに実施
できたため

評価
A

施策目標Ⅱ 環境への負担の少ない水道・下水道を目指します

1 市内河川と下流域の水環境を守る下水の高度処理の推進

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：改築更新にあわせた段階的な高度処理施設の導入計画の検討
高度処理施設の整備(鳥羽水環境保全センターB系高度処理施設築造工事)の継続実施

2 雨の日も水環境を守る合流式下水道の改善

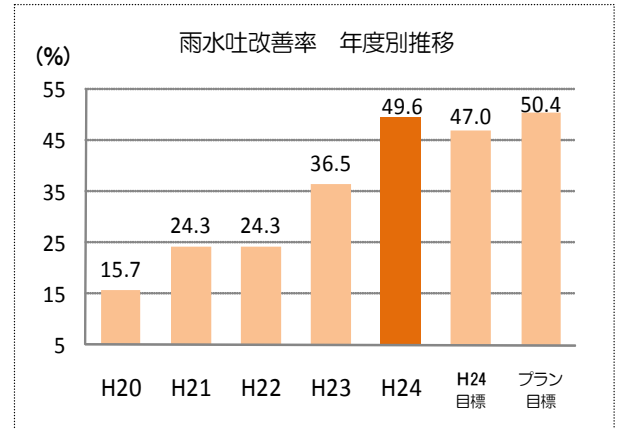
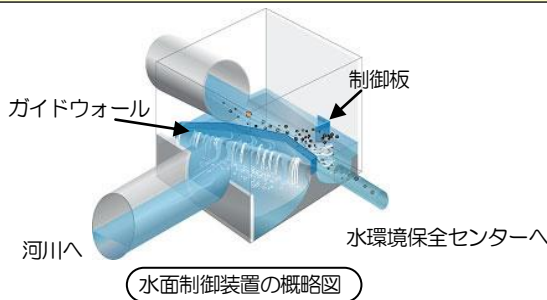
雨水の貯留幹線の
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

24年度の主な実績：雨天時に下水を一時的に貯留する幹線等の整備
雨天時下水処理の改善検討
雨水吐の流出抑制対策の実施

雨水吐の流出抑制対策

水面制御装置は、雨水吐室に制御板とガイドウォールを設置し、渦巻き流れを誘発させることで、動力を用いず、ゴミなどを下流側の管へ送り、河川への流出を防ぎます。



3 市民のくらしと水環境を守る下水道整備の拡大

下水道整備の工事の
進捗に遅れが生じた
ため

評価
B

24年度の主な実績：大原、静原、鞍馬及び高雄地区での下水道整備の実施
公共下水道未接続の解消に向けた普及勧奨の推進

4 環境保全の取組の推進

24年度の主な実績：
太陽光発電設備の継続運用、大規模太陽光発電設備の工事着手
浄水場、水環境保全センターにおける電力使用量の削減
上下水道事業一体の環境報告書の発行



▲浄水場の太陽光発電設備

計画どおりに実施
できたため

評価
A

琵琶湖疏水記念館のご案内

●開館時間

3月1日～11月30日
午前9:00～午後5:00 (入館は午後4:30まで)
12月1日～2月末日
午前9:00～午後4:30 (入館は午後4:00まで)
※動物園からも入館できます。

●休館日

毎週月曜日 (ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌平日)
年末年始 (12月28日～1月3日)

入館
無料



施策目標Ⅲ 将来にわたって使い続けられるよう水道・下水道の機能維持・向上に努めます

1 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：

【水道】平成24年度全16回の給水区域切替作業を実施し、山ノ内浄水場を廃止

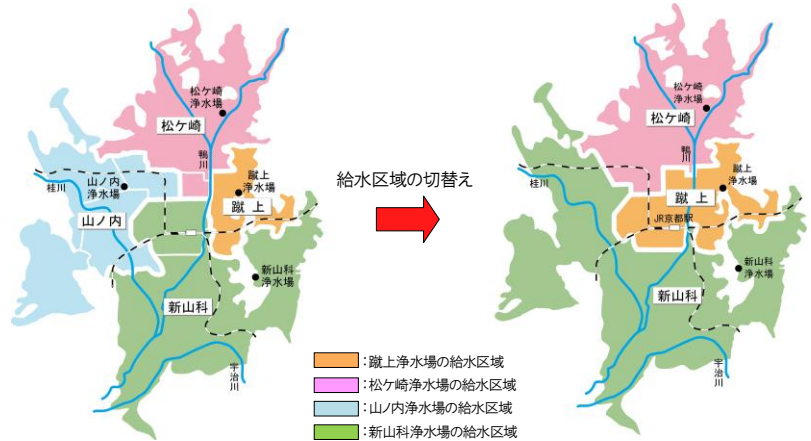
【下水道】下水汚泥処理施設の集約化のための石田・伏見水環境保全センターから鳥羽水環境保全センターへの汚泥圧送設備工事完了

浄水施設最大稼働率(%)

$$= \frac{\text{1日最大給水量}}{\text{1日当たり浄水処理能力}}$$

山ノ内浄水場の廃止により浄水施設最大稼働率は76.2%となり、より効率的に施設を利用できるようになりました。

平成23年度 **63.2%** → 平成24年度 **76.2%**



全ての切替作業完了後(平成25年6月)の給水区域イメージ

2 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

施設の改築更新の
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

24年度の主な実績：各浄水場、洛西配水場の改築更新工事の実施継続
各水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新工事の継続実施

3 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新

管路の改築更新の
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

24年度の主な実績：配水管の計画的な更新
下水道管路施設の計画的な点検・改築更新
浸入水の削減

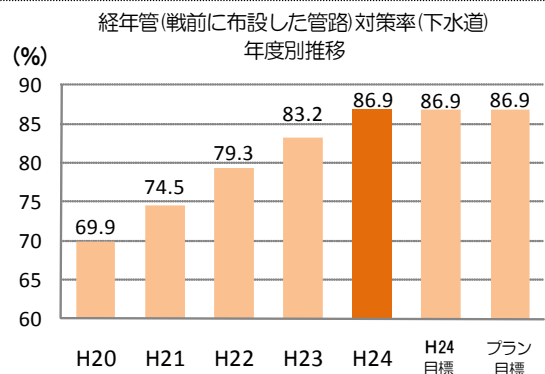
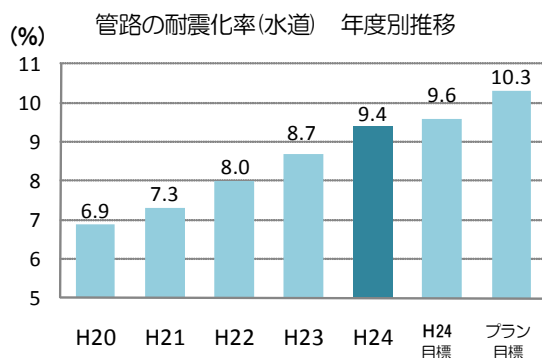
管路の耐震化率(水道)(%)

$$= \frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路総延長}}$$

中期経営プラン(2013-2017)では、老朽化した配水管の更新率を倍以上にスピードアップし、耐震化を進めていきます。

経年管(戦前に布設した管路)対策率(下水道)(%)

$$= \frac{\text{経年管対策済管路の延長}}{\text{戦前に布設した管路の総延長}}$$



施策目標Ⅳ 皆さまのご要望におこたえし、信頼される事業を展開します

1 お客さまが利用しやすい仕組みづくり

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：お客さまサービス向上に繋がる窓口対応に関する研修の実施
平成25年度以降の営業所のあり方等について検討、方向性を決定

2 積極的に行動するサービスの充実

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：休日における開閉栓業務の継続実施 出動件数 5,175 件
開栓時の「水道便利袋」お渡しサービスの継続実施 34,158 件
疏水物語の配達サービス 1,039 ケース

3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：

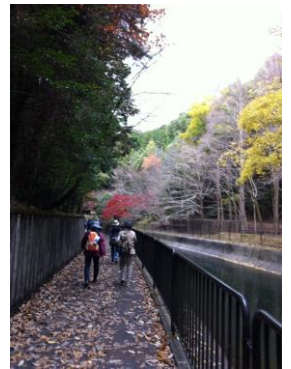
水道創設100周年関連事業の実施
(疏水ウォーキングラリー、巡回パネル展、記念史の発行など)
一般公開(鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場)の開催
ツイッター「すみとくんのつぶやき」の開始など



上下水道局ホームページのバナーより



▲疏水ウォーキングラリーの様子



4 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：

料金制度審議委員会における審議・意見の取りまとめ
料金制度改定案策定
口座振替割引制度及びクレジットカード払い導入に向け、協議や情報収集等の準備作業を実施
民間分譲マンションの水道メーター各戸検針・各戸徴収サービスの受付(10件、530戸)

5 地域の皆さまや流域関係者とのパートナーシップの推進

浸水対策などの
工事の進捗に遅れが
生じたため

評価
B

24年度の主な実績：滋賀県との情報交換会の開催や淀川水質汚濁防止連絡協議会における
活動の充実
下水道利用に関する啓発・指導
「哲学の道」及び疏水分線の適切な保全

民間分譲マンションの 各戸検針・各戸徴収サービスを実施しています！

●サービス内容●

上下水道局がお貸しする水道メーター(有料)を分譲マンションの各戸に設置していただき、一戸建て住宅と同様に上下水道局が水道メーターの検針を行い、お使いになられた水量に基づく水道料金等を、直接、各戸のお客さまから口座振替によりお支払いいただくサービスです。当サービスは、管理組合の代表者等の申請により適用させていただきます。

●申請者●

管理組合の代表者、新築マンションの建築又は分譲事業主等

●受付窓口●

市内9箇所にある担当営業所にご相談ください。適用条件等、詳細をご説明いたします。

施策目標Ⅴ 経営基盤を強化し、将来にわたり安定した経営を行います

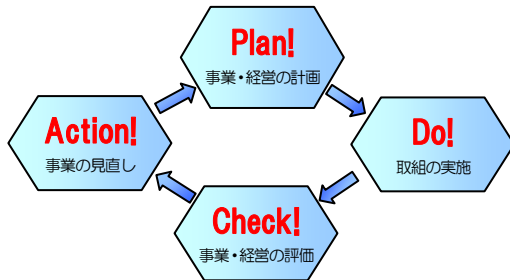
1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

計画どおりに実施
できたため

評価
A

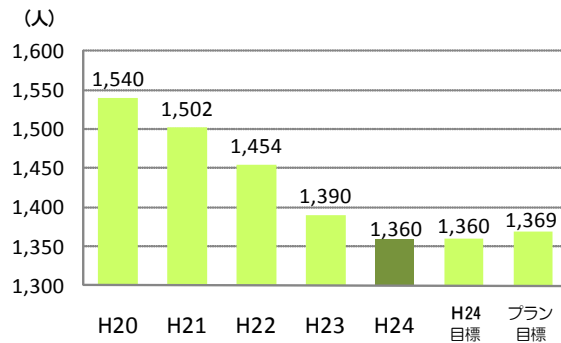
24年度の主な実績：

水道メーター点検業務の完全民間委託化
職員予算定数の削減（△30名）
経営評価審議委員会の運営、意見の公表



▲PDCAサイクルのイメージ図

職員予算定数の削減(人)(水道事業及び公共下水道事業)



2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：

京都市公共事業コスト構造改善プログラムに沿った建設コストの縮減
「京(みやこ)の駅ミスト」の実施
簡易型ミスト装置の保育所等への設置(100施設)
山ノ内浄水場跡地活用について、学校法人京都学園との基本協定を締結
企業債の補償金免除繰上償還の実施
(水道事業 26億22百万円、公共下水道事業 216億35百万円)

京(みやこ)の駅ミストの様子
(京都駅前市バス乗り場)▼



補償金免除繰上償還とは

企業債の繰上償還を行う場合、後年度の利子相当分を補償金として支払う必要がありますが、平成24年度までの特例措置として繰上償還に係る補償金が免除される制度です。繰上償還とともに低金利の企業債に借り換えることで、支払利息が軽減されます。

3 上下水道一体体制の効率的な事業運営

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：「技術研修実施計画書」に基づく技術研修の実施

工事施工に関する基準・要綱等の共通仕様書の運用
連結財務諸表の作成及び市会への提出、ホームページへの掲載

4 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

計画どおりに実施
できたため

評価
A

24年度の主な実績：民間企業への派遣研修の実施

所属長マニフェストの策定・公表、中間検証の実施、報告会の実施
技術力継承発展推進部会における技術継承の方策案の作成と検討



(490ml入/本)

飲料水の確保については
1人1日最低3ℓの水が
必要とされています！

京都市が誇る水道水を工場処理後、缶詰(アルミボトル)にしたもので、災害用備蓄飲料水として役立てていただくのはもちろん、普段の飲料水としても、冷やしていただきますと、より一層おいしく飲んでいただけます。

※配達にはケース単位で京都市内(一部除く)に限ります。

災害用備蓄飲料水
「京の水道 疏水物語」を
実費でお分けいたします。

金額 2,400円(税込み、1ケース24本)、
ケース単位でお分けします。

賞味期限 製造後、常温・未開封で5年間

購入方法 上下水道局お客さま窓口サービスコーナー又は市内9営業所へ電話、FAX又は来所していただきお求めください。また、ご自宅等までの配達*も承ります。(配達料は無料)

上下水道事業環境会計（平成24年度）

水道事業では、給水区域再編や設備運転の効率化による電力削減等により、環境保全コストが1.2億円、環境保全効果が3.2億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は、2.1億円の黒字となっています。

下水道事業では、下水処理過程における電力の削減や公害防止等により、環境保全コストは19.6億円、環境保全効果は24.5億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は4.9億円の黒字となっています。

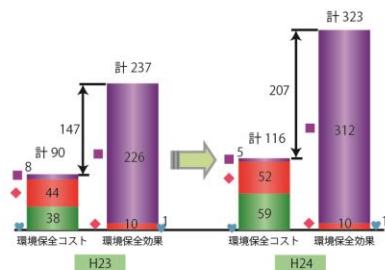
水道事業

環境会計（百万円）

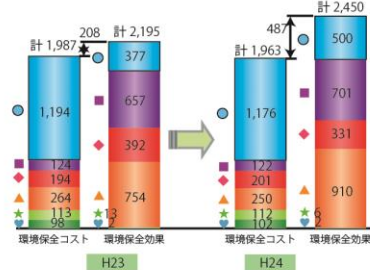
下水道事業

- 電力削減など環境負荷の抑制
 - ◆資源の有効利用
 - ♥ヒートアイランド対策他
- (グラフと上記取組項目の色と記号が対応しています。)

金額換算できない取組もあるから効果は本当はもっと大きいはずー



給水区域再編の効果により、電力削減量が増加しました。



昨年度と比べて、汚泥処理工程で発生するばいじんの抑制量が増加しています。また、高度処理によるりんの除去量も増加し、環境保全効果が高くなりました。

- 高度処理
 - 電力削減など環境負荷の抑制
 - ◆資源の有効利用
 - ▲処理過程における公害防止
 - ★事業場排水の規制
 - ♥ヒートアイランド対策他
- (グラフと上記取組項目の色と記号が対応しています。)

水道事業、下水道事業とも黒字だね！

- ※環境会計とは？ 環境会計は、環境保全の取組を効率的・効果的に進めるため、取組にかかったコストと得られた効果を、可能な限り金額で表し説明する仕組みです。
- ※環境保全コストとは？ 環境保全の取組にかかる費用です。維持管理費と設置した施設の建設費(減価償却費)の合計です。
- ※環境保全効果とは？ 環境保全の取組による経済効果です。取組を実施する場合としない想定した場合の、環境汚染物質による被害量の差を金額換算したものです。

「京都市上下水道事業経営評価」(本冊)もご覧ください。

上下水道局では、「効率的かつ効果的な市政の実現を図る」こと、「市民の視点に立った市政の実現を図る」ことを目的として経営評価を実施し、評価結果について公表しています。

この冊子は、その概要版に当たるもので、より詳しい評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

●ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

上下水道事業経営評価

検索

市民の皆さまのご意見・ご提案をお聞かせください。

このたびは「京都市上下水道事業経営評価(概要版)」をご覧いただきありがとうございました。私たち上下水道局では、皆さまからの貴重なご意見・ご感想をもとに、今後ともより分かりやすい経営評価への改善やより良い事業運営につなげていきたいと考えています。

経営評価をはじめとする上下水道事業に関するご意見・ご提案は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)の **ご意見メール**までお寄せください。

おいしい!大好き!
みやこ
京の水キャンペーン

京都市上下水道局
水環境課

京都の水道を「おいしい!」「大好き!」と宣言していただける方を募集しています

発行 京都市上下水道局 総務部 経営企画課
〒601-8004 京都市南区東九条東山王町 12 番地
TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711